



# ほけんだより

平成30年5月

大田区立保育園

新緑が美しく、過ごしやすい季節になりました。入園・進級から1か月余り経ち、子どもたちは新しい生活に慣れてきたようです。集団生活では感染症にかかる機会が多くなります。健康に過ごすため計画的に予防接種を受けましょう。

## <予防接種はどうして必要なのでしょう？>

### 自分の体を守る

ワクチンの接種で免疫が  
つきます。感染症の発症  
を予防したり、重症化せ  
ず軽くすみます。



### 病気を広げない

集団生活では、ウイルス  
や細菌が入りこむと、あ  
っという間に感染症が流  
行します。流行を最小限  
にすることが大切です。



### みんなの健康を守る

ワクチンを受けたくても  
受けられない乳児や妊婦、  
体力の低下した高齢者な  
どへの感染を防ぐことが  
できます。



## <予防接種を受けるときに気をつけること>

### 接種を受ける前に

- 接種当日は、朝からお子さんの状況をよく観察し、普段と変わったところがないか確認しましょう。
- お子さんの状態をよく知っている保護者が同行しましょう。
- 予診票は、お子さんを診察し接種する医師への大切な情報です。正確に記入して持参しましょう。
- 母子手帳には予防接種の大切な記録を記入します。忘れずに持参しましょう。

### 接種を受けた後に

- 重篤な副反応は、予防接種後30分以内に生じることが多いため、接種後はすぐに帰らず医療機関で様子を見るか、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 接種部分は揉まないようにしましょう。
- 接種当日はいつもしていないような激しい運動は避けましょう。
- 入浴は差し支えませんが、接種部位をこすらないようにしましょう。

- ★ 接種のスケジュールや同時接種については、かかりつけの医師に相談しましょう。
- ★ 接種できる時期になったらすぐに受けましょう。0歳のワクチンは種類・接種回数が多いので、できるだけ早く接種することが大切です。

